CSRの情報紙
季刊プレンティア
2017年冬号 vol.03
N.P.O. プレンティアの森®
〒430-0907 静岡県浜松市中区高林5丁目11-6 http://plenteer.com/

CONTENTS

“変化”を楽しむ、第５回 …… 1
《連載》森のエコラム ……1
里山フェスタ 2016 …… 2
秋のプレンティア …… 3・4
キーマン登場！ー森づくりCSR担当者リレー紹介 …… 4
森づくりCSRを楽しむ　ワンポイント・アドバイス 5
グリーン・レシポンシビリティ・サポータークラブ… 5
この実何の実３ …… 5
里のたよりー小堀谷の里・渋川の里の季節を告げるフォトレポート 5
森からの宅急便ー里山産品レポート …… 5
トピックス…… 6
《連載童話 ３》ともだち …… 6
森のサブ・カル…… 6
information / 編集後記 イチ・オシ…… 6

2012年の小堀谷の森

主催

遠鉄システムサービス株式会社・株式会社リサイクルクリーン・株式会社・丸山コーポレーション
株式会社アイジーコンサルティング・不二総合コンサルタント株式会社

連載 森のエコラム

シジフォスの嘆き
～神話のアフォリズム３～

シジフォスは、カミユの随筆『シューシュポス（フランス語読み）の神話』でもよく知られたギリシャ神話の登場人物です。
女好きで名高いゼウスが、美女に夜這いを掛けたのを、親に告げ口をして邪魔をしたのがコリント王のシジフォスです。
それを知って激怒したゼウスはシジフォスを地獄に落とし、毎日大きな岩を山頂に押して運ぶという罰を与えました。山頂に運び終えたその瞬間に、岩は元あった場所に転がり落ちてしまいます。来る日も来る日もその無意味な作業を続けさせられるのです。
これによく似た反抗的な囚人に対する懲罰が、現実にロシアの強制収容所にあったといいます。
スコップを一本持たせて大きな穴を掘らせ、完成したら埋めさせる、埋め終わったらその隣にまた穴を掘り、掘り終わったらまたその穴を埋めるという作業を延々と続けさせたのだそうです。この無意味さには、どんなにしぶとい囚人も音を上げたのだとか。
ともあれカミュはこの神話のモチーフを基に、いずれは死によって全てが水泡に帰す事を知りながら、それでも生きるという作業を続けるという人間の不条理を描き出しました。
考えてみれば二十世紀の豊かさは、命を削って作り上げても消費によって一瞬のうちに無に帰す『モノ』を、際限もない欲望に突き動かされて作って来たと言えるでしょう。
考えてみればものづくりというのは極めて哲学的な作業です。
シジフォスの「何も作り出せない」という罰とは違って、ヒトに残された行為は「作る事が出来る」という事だからです。
その結果としてヒトの手に残るものが地球の温暖化だけでは、シジフォスの嘆きよりも過酷な刑罰だというしかありません。
循環できるのは私たちの「行為」だけではないでしょう。

特集 里山フェスタ2016

森づくりＣＳＲトラストによる最大のイベント“里山フェスタ”が、11月5日（土）天竜区小堀谷のプレンティアの森にて開催されました。今はまだ、紅葉もなく秋晴れの青空もチラリとしか見えない残念な森ですが、この日は活気にあふれ生命の可能性を強く感じさせてくれました。

2012 年から始まった里山フェスタも５回を数え、森に変化が感じられるようになりました。施業が進み地表に太陽の光が差し込むようになった森は生態系を取り戻しつつあります。それをふまえて、森づくり活動も次のステップが求められる時期にきているのかもしれません。「森の変化を受け入れ、それを楽しみながらＣＳＲ活動を継続していく」という決意を全員で確認し、笑顔いっぱいの１日となりました。

平成 28 年 10 月 15 日開催
第５回里山フェスタ
森づくりイベント
93 名参加（スタッフ 13 名）

ご飯がおいしく炊けました

大自然の中の開放感が気に入って、今までに3回くらい参加しています

頼もしい面々が揃うリサイクルクリーンの皆さん。施業だけでなく、意外にもお料理班でも大活躍！特にご飯は絶品。

天竜小堀谷 リサイクルクリーンの森

そろそろ、子どもに環境の話をしようと思っています

天竜小堀谷 アイジーの森

アットホームな雰囲気のアイジーコンサルティングの皆さん。少人数ながら、施肥ダム、お料理、リース作り、とそれぞれいろんな活動にチャレンジしました。

天竜小堀谷 丸山コーポレーションの森

やっただけ見に見えてキレイになっていくので、やりがいがあります

ジビエ汁が思ったより臭みがなくておいしかった。機会があれば、また食べてみたい

丸山コーポレーションの皆さん。社員の中にはプレンティアの森のサブリーダーの資格を持つ人もいますが、それ以外の人もリーダーシップを発揮し、施業がサクサクと進みます。

子どもたちは沢が大好き

だいぶ開けて明るくなりました。丸太を切った時の香りがさわやか☆

天竜小堀谷 ドコモ天竜の森

天竜小堀谷 E.S.Sの森

落ち着いた雰囲気の遠鉄システムサービスの皆さん。見た目と違って、実はパワフル。比較的太い木が多い森ですが、ガッツリ運んで頑丈そうな施肥ダムができました。

天竜小堀谷 森づくり広場

倉庫

天竜小堀谷 エフ・シー・シーの森

倉庫

天竜小堀谷 アツミテックの森

天竜小堀谷 体験公園

いきなり、講義のはじまり

不二総合コンサルタントさんの精鋭４名。“不二総合の森”は渋川ですので、この日は先頃発見した施業道の整備を担当。

プロムナードのはじまりにはステキな階段を

走ったり、木を持ち上げたり 思いっきり体を動かせるよ

Opening

各社幹事紹介

丸山コーポレーション田村社長

オリエンテーション

Mini Mini Live

「音心」さんの演奏が森と心に響きます。

Ending

代表幹事の鈴木さん（右）と幹事の森下さん

「プレンティアの森のテーマ曲」も披露

Craft

こんなに大っきなリースできちゃった！

ここでヘルメットと兼帯を受け取って森へ向かうよ！

Cooking

パパの分も作ってくれてありがとう♥

定番の豚汁

鉈で竹を割って、お箸を作ったんだよ！

施業を終えた後のお楽しみは、小堀谷の里でとれた里芋入りの豚汁。今回はイノシシ肉を使ったジビエ汁にも挑戦！おいしかった〜!!

地元のイノシシのお肉

竹を割ってお箸を作ります。あと何人分作ればいいのかな？

●青谷鍾乳洞

トイレ

創知
遊食

秋のプレンティア

プレンティアとは

個人的な楽しみ（pleasure）を、社会的な価値の創造（volunteer）につなげようという主旨の運動の創始者による造語です。工業化社会の出現とともに失われた自然と共生する暮らし方と、その喜びを蘇らせ、その個人的な楽しみを通して、高い炭素の吸収効果や、豊かな生物多様性の回復など、多様な社会的な価値の創造に結びつけようという呼びかけです。

森づくりCSRとは

地球の温暖化や生物多様性の崩壊など、ヒトの営みの自然生態系への影響はヒト社会全体が担うべき最大の責任です。ことに大気中の炭素の吸収は森林にしか出来ません。森づくりＣＳＲとは、企業が森の再生を通してその責任を率先して果たそうというものです。プレンティア方式の施業は、楽しめるレクレーションとして、福利厚生事業としても活用されています。

渋川の森にテーマパークを思い描き 侵入竹の除去と施業道の整備

渋川の里
不二総合の森

平成28年10月15日開催
不二総合コンサルタント
ＣＳＲ活動
14名参加（スタッフ６名）

２週間前の測量研修に続いて、今回も侵入竹林の整備と歩道づくりを行いました。
森を抜けて隣の村へ茶葉を運んだという且つての生活林道も、今は竹や木の枝が行く手を阻み、水路と化した大きな溝は足の踏み場に迷う有り様。この林道を将来のテーマパークを想定して整備していきます。
この日は放置竹林から侵入してきた竹を除去した後、間伐したスギを使って歩道に階段を作りました。休憩時間には、鉈やノコギリで杭作りに挑戦するメンバーが続出！汗だくになって、ものづくりも満喫しました。

整備されて見通しがよくなった林道。将来は渋川の山が見晴らせる遊歩道に、と構想中

ひとこと

不二総合コンサルタント T.K さん

施業の現場で新しい発想が次々と生まれて来ること、そしてそれが自分たちの力でどんどん実現できるところがとても面白いですね。

エフ・シー・シー Y.I さん

会社のクラブ活動の一環で「社会貢献を」ということで、今回初めて参加しました。浜松に住んでいますが山に入ったのは久しぶりです。施業が中止で残念です。機会があればまた参加したいです。

順延でもモチベーションはキープ。恒例の施肥ダムコンテストは大接戦

天竜小堀谷
アツミテックの森

平成28年11月12日開催
アツミテック
ＣＳＲ活動
46名参加（スタッフ５名）

社長賞を目指して…アツミテック施肥ダムコンテスト

順延になっていたアツミテックさんの施業活動が11月12日にアツミテックの森で開催されました。
恒例の施肥ダムコンテストではかなりの力作揃い。北村、山口の両リーダーがノミネートした作品を、中島社長と代表の水野とで審査をしました。作品の甲乙はつけがたく、公開審査の結果、チーム表彰という事で落ち着きました。
審査を公開にした事で参加の皆さんには施肥ダムの目的がよく伝わった事でしょう。

盛りだくさんのランチブレーク

社員の皆さんがレシピを片手に知恵をしぼって作った番長レシピの“プレンティアカリー”の出来は最高！
料理自慢の中島社長も手放しで褒めていました。
ランチブレークは「音心」さんのフォレストライブ。プレンティアの森のテーマソングなど、森にしみ込むオカリナの響きに癒されたひととき。子供たちは例によって沢ガニと遊んだり、丸太をスライスした自然素材でオリジナルのパズルを作って楽しんだり、都会を忘れる楽しさを知ったようでした。

天竜小堀谷
エフ・シー・シーの森

熱意が天に通じたのか、雨が小康状態に…植樹は決行、スパイスカリーは最高！

平成28年11月19日開催
エフ・シー・シー
ＣＳＲ活動
22名参加（スタッフ６名）

雨の予報を受け、本社での開催という選択肢があったにもかかわらず、現地での研修を希望されたエフ・シー・シーさん。当日は予報通りの雨でしたが、小堀谷集会所での研修を終える頃には雨も小休止、森での植樹を行うことができました。遠く三重県鈴鹿から毎年参加しているという社員さんもいて、CSR活動への熱意を感じます。そして集会所では、お待ちかねの東京カリー番長によるスパイシーカリーのできあがり！ルーを使わずスパイスと具材だけで作るスパイシーチキンカリーは、あっさりした辛さで、小さなお子さんでも完食できる美味しさです。

雨雲も吹き飛ばせそうな笑顔の東京カリー番長

雨にも負けず…

スタッフの豊田千安紀さんによるプレンティアの森のテーマ曲紹介

この日の環境講演の講師は本誌編集長の遠藤です。二酸化炭素を固定化する森の話はわかりやすかったでしょうか

エフ・シー・シーの担当者原田さんからは『小鳥の巣箱の作り方』の紹介も

集合写真は雨の中になってしまいましたが、元気をふり絞って「チーズ！」

コンセプトDVDを使ったリーダー研修

10月28日のアツミテックさんの施業活動が順延になったので、急遽森林・山村多面的機能発揮の研修だけが実施されました。
現地でのオリエンテーションの後、研修所に移動してDVDを使った森林再生の目的や手法の講義です。リーダー教育用の教本として従来から使用して来た教本を映像版にリメイクしたDVDを使って、１：の「ＣＳＲとは」から、14：の「パラダイムシフト」までの14のテーマについて詳細な講義を受けました。
DVDのタイトルは「パワー・ツー・ザ・フォレスト」。12月末には一般販売（予定価格￥2,500+税￥200）もする予定です。

研修前のミーティング。緊張感が漂います

ランチタイムには、東京カリー番長のレシピ「まぼろしカレー」をベースにシェフ自身の手で作ったジビエカリーを試食しました。さすが、カリー番長！洗練された都会のレストラン風の上品なカレーに仕上がっていました。獣臭もなく、食感も柔らかく『これは、ジビエというより良質の牛肉のフィレだ』と、一同大好評でしたが、『どっか野趣がないとなあ』と、不満を漏らしたのは代表だけでした。
それを皮切りにブレーンストーミングが始まり（議論の概要は『森からの宅急便』に）結果的には、里山産品の役割とコンセプト産品としての価値の浸透に大きな意義ある研修となりました。

平成28年10月28日開催
リーダー研修
11名参加（スタッフ７名）

やる気満々で研修に臨むスタッフ

なにはともあれ搬入用の林道整備

里山フェスタの事前施業

一応ここは市道なのですが、直しても直しても一雨降ると道に小川が出没してしまってご覧の通りのありさまです。この市道を使うのは我々以外にはイノシシだけですから無理はないと思うのですが…という愚痴はさておき、恒例の里山フェスタの前の事前施業のはずが、ＣＳＲトラストの全幹事がそろっての道路補修です。 なれない仕事…と思いきや、測量のエンジニアやら、土木工事管理士が居たりして、『仕事を変えても食って行けそう！』という声が出る程。 何しろリーダーの中には、災害支援で手慣れた元・陸上自衛隊が居ますから！

平成28年10月30日開催
事前施業
10名参加（スタッフ５名）

完全に側溝と化しています！危険!!

意外にも皆さん手慣れた様子

「お弁当で～す」の声で集合。束の間の笑顔？

KEY MAN キーマン登場！

プレンティア活動の各主催企業団体のキーマンをインタビュー形式でご紹介するコーナーです。第３回目は株式会社アイジーコンサルティングの森下真彦さんです。

もりした まさひこ
森下 真彦 さん
株式会社アイジーコンサルティング　総務人事部　課長

「木の香りがする素敵な本社ですね。まずは事業内容を教えてください。」
住宅のメンテナンス全般から建築まで、住宅に関わる仕事を行っています。明治時代白アリ防除の会社からはじまり、創業117年になります。
「森づくり活動の位置づけは？」
企業のＣＳＲとして総務中心で行っています。新人研修はいち早く取り入れ、すっかり定着し毎年行っています。
「ひときわアットホームな雰囲気ですよね。」
人を大切にし続けるという社風を掲げているからでしょうか。仕事においても社外でも社員の結びつきがとても強いと感じます。社員だけでなく家族も一緒に参加できるイベントは貴重なので、もっと福利厚生を充実させて、勤務地が遠く休日も違う社員の皆さんに多く参加してもらえるよう工夫したいと考えています。

森下さんは1971年生まれ。子供が大好きで森の中ではいつも子供達みんなのお父さん的存在です。趣味は読書と花や野菜を育てる事。
今後はリピーターの為に、何度も森に来たいと思ってもらえるような変化のサプライズを考えていきたいと、父性溢れる？優しい笑顔でお話くださいました。

この実 何の実 3

違いが分かる？／里山検定

クヌギとアベマキ

左がクヌギのどんぐりで、右がアベマキのどんぐりです。
相当の里山通でも、ちょっと見ただけではほとんど区別は付かないと思います。平均的にはアベマキよりクヌギの方がちょっと大きいのですが、個体差がありますから、クヌギのどんぐりより大きいアベマキのどんぐりもあります。こうなったら全く区別は付きません。しかし殻斗（帽子みたいなところ）のカタチを見れば、比較的分かりやすいでしょう。
クヌギはほぼ半球形の**ニット帽型**なのですが、アベマキの方はずんぐりむっくりの**コサックの帽子型**です。

小堀谷の里・渋川の里の季節を告げるフォトレポート

里のたより

里は今、晩秋です。
様々な四季の変化、移ろいを
都市のあなたにお届けします。

甘酸っぱいフユイチゴは森のおやつ♥

大きく曲がった松。
幼少期に何があったのか？

ヤマフジのつるでリースのできあがり！何を飾ろうかな。

ピーターラビットの絵本に出てくるようなキノコ。大きいよ～

グリーン・レシポンシビリティ　サポータークラブ

サポーター会員募集

**もしも故郷の森への思いがあれば、その思いをカタチにはできますが、
あなたに提供していただく会費に見合うだけの物質的なメリットはありません。**

個人会員年会費：￥3,000 円

○（季刊）プレンティアを発行毎に郵送いたします。
○ 森づくり活動に参加（優待）でき、リーダー講習も受けることができます。
○ 里山産品の頒布を受けられ、産品のプロシューマー生産に参加できます。
スタッフやプロシューマー生産者になるためには別途、認定講習と試験があります。
里山産品は厳格な生産規定のため、頒布数量に限りがありますのでご了承ください。

G.R. Green Responsibility SUPPORTER

http://plenteer.com/gr

G.R. とは　グリーン・レシポンシビリティ Green Responsibility の略称です。
森の破壊は、ヒト社会の一方的な利益追求の結果が生み出した現代社会最大の社会責任です。G.R. はその責任を果たそうとする森づくり活動で、サポータークラブはその活動に共感し、支援する組織です。

合言葉は　*Power to the Forest*
蘇れ、ふる里の森

森づくり CSR の楽しみ方

ワンポイント・アドバイス

施肥ダムの リフォーム

施肥ダムコンテストにリフォーム部門登場

先季号でご紹介したように「施肥ダムづくり」の最も大きな役割りは、放置林化によって失われた林床の生態系を回復させる事です。
山肌を流れ落ちる雨水をくい止めて保水性をもたせ、留められた水と適度な日光とで地中の微生物のコロニーを作るのです。
コロニーの住人（?）である腐朽菌は、積上げられた草葉や施肥ダムの有機物を分解して植物の肥料となる無機物に変えます。この働きが森の生態系のはじめの一歩なのですが、施肥ダムが優秀な効果を発揮すればするほど、ダムの崩壊が進むことになるのです。
そこで、施肥ダムのリフォームが必要になります。
崩壊し始めたダムを補強して雨水の流れをしっかりとくい止め、さらに多くの草葉を山側に積上げるという施業ですが、林床にしっかりした腐葉土層ができれば完成です。

さて具体的な施業方法ですが

地中に差し込まれていた杭がグラグラ揺れるようだったら、その脇に新しい杭を打ち添えます。次に横置きの丸太が脆くなっていたら新しいものを追加し、積上げた草葉や枝などの素材を追加します。リフォームといっても古い素材を除いてはいけません。古い施肥ダムこそ機能しているのですから。
従来の施肥ダムコンテストは「新設部門」だけでしたが、12月のドコモ東海さんのイベントから「リフォーム部門」が登場です。
崩れかけたダムがリフォームでどのように変身するかを、次号でレポートしますのでご注目ください。

里山産品レポート

森からの宅急便

里山産品

里山産品の生産現場を伝えるフォトレポート

◆ コラボがスタート　小堀谷ジビエカリー ◆

カレー界のカリスマと、狩人塾の塾長と、プレンティアの森が協働で

10 月 28 日の研修（トピックス参照）で、初のジビエカリーの試食ができました。

代表：上品な味になりすぎて…どっかクセというか個性を生かしたい
番長：特に獣臭を消すような調理はしていないんだが…
塾長：昔と違う処理技術の高度化や、猪の食生の変化によるかも

いずれにしても、まずは、主材となる肉種の問題だということになり、『イタリアのイベリコ豚はどんぐりで育てる。同じ種の動物なんだから…』とイベリコ猪（?）という発想に盛り上がりました。我々が里山再生の主木と考えて植えてきているのはどんぐりです。

イベリコ猪という発想

よくあるような駆除獣の活用という視点を根本的に変えようという発想です。もちろん里の被害を抑えることが第一ですが、駆除でなはく、棲み分けによってそれを実現しようというものです。そうすれば、猪は野生の食生に戻り、その猪を捕獲すれば本来のジビエが穫れるはずです。
その発想の実現に向けて、
１：猪と人が住み分けられる豊かな里山を復活させる。
２：最適な捕獲方法とその処理方法を開発する。
３：その素材の味がもっとも生きるレシピを創作する。
と、三者のその役割と協働の価値とを参加者一同で確認しました。
この結果、狩人塾の塾長はプレンティアの森のフォレスティング・リーダーの研修生として加わることになるなど、実り多い研修会でした。

森のサブ・カル

生態系が戻って来ました

“おいしい先駆植物たち”

不毛な放置林の林床に生態系が戻りつつあります。野いばらやマルバフユイチゴなどの厄介な刺を持ったつる性の植物や、種が衣服に付くとなかなか取れないイネ科の植物が多くなって、施業の妨げになります。
こうして自然生態系が回復すると真っ先に芽を葺く先駆植物は、そんな厄介な植物だけではありません。タラ、コシアブラ、サンショウ、草本類ではワラビ、ゼンマイ、コゴミなどの野趣あふれた山野草があるのです。
実はこれらの山野草もゆっくり戻って来ています。
すべてスーパーの店頭にも並んでいるものばかりですが、自然の中で生きて来た野生種はスーパーの養殖物とは全く異なる味わいがあります。とはいっても今のうちは、眺めるだけにしておきましょう。
ここは里山ですから採集することはできます。しかし、生態の知識や理解が浸透するまでしばらく待ちましょう。せっかくの自然との共生施業という目的が、結果的に自然からの収奪になってしまいます。

〈写真上左〉マルバフユイチゴ、〈写真上右〉タラ、
〈写真下左〉サンショウ、〈写真下右〉馬酔木

INFORMATION

新年をむかえて
ポスターカレンダーを発行します

『この子の明日を』をテーマにした地球温暖化を考える意見広告として、年末から年始に向けてＡ２判カラーのポスターカレンダーを発行します。カレンダーのコマは１ヶ月分しか付いていませんが、ひと月の間だけでも地球について考えていただければと思います。
遠鉄沿線の各駅など公共の空間に掲示してご覧いただいておりますが、協賛企業各社様にはお配りしています。
よろしかったら、お受け取りください。

《連載童話 3》 作・高井琴音

ともだち

同じ年の冬に浜松に帰って、いつものように同級生に会いに行ったんだけれど、庭に出てみて驚いた。［きょうた］のクヌギの葉っぱが、ママのドライフラワーみたいに茶色くなっていたんだ。地面にもいっぱい落ちていたんだ。枝の先に少し残った枯れ葉だって、丸まって小枝の先に絡み付いている。
「大変だぁ！同級生がミイラになった！」と、慌てて［きょうた］はじいちゃんを呼んだ。
「大丈夫だよ」と笑いながらじいちゃんは出て来て茶色くなった葉っぱを、ちょんとつっついた。葉っぱはポロッと枝から離れて落ちた。その枯葉の付け根の所には、まだ胡麻粒みたいな小さな芽が見えた。
『生きていたんだ！』枯れ葉のコートで、次の年の芽を北風から守ってやっているんだな。『同級生もなかなかやさしいやつだ。』と、［きょうた］もちょっとあたたかい気持ちになった。
「どんぐりの木はな、秋になると葉っぱを枯らして地面に落とすんだ。そうすれば、地面の中に居る虫たちや、草の種に太陽の光や暖かさを届けてやれるだろ？地面の中ではいろんな草の種やら、オケラやダンゴムシのような生きものが、じっと春を待っているんだ。落ち葉は、すばらしい肥料になったり食べ物になったりして、そのともだちたちを育てているんだよ」と、地面の落ち葉をつかんで、［きょうた］に見せた。
「だからこれは大切な宝だ」そう言いながらじいちゃんは、いろんな葉っぱがたくさん積まれてもっと汚い色の山の上に撒いた。そして、まるで宝探しでもするみたいに、ガサッとその山の中に手を突っ込んだんだ。
「ストーブみたいに暖かいぞ」と、手を突っ込んだままじいちゃんは［きょうた］を呼んだ。
『電気もなくて、火も出ていないのに暖かいわけないよ』と、［きょうた］は思った。そんな［きょうた］の怪訝そうな顔つきに、じいちゃんは「生きものの力で暖める〈チーン〉みたいなものだ」と言った。
目には見えないけれど、地面の中にはものすごい数の小さな生きものが居るらしい。それが枯れ葉なんかを融かして食べる時にこんな熱が生まれるんだそうだ。
（つづく）

TOPICS ★トピックス

カリーマニアに朗報 スパイス&ハーブ付きのレシピと、レシピ本をリリース！

プレンティアの森の GR（グリーン・レシポンシビリティ）クラブの名誉 PR 大使東京カリー番長が、月毎に出版するちょっと変わった宅配ハーブ＆スパイスのバンドリングレシピをリリースをしました。本格カリーのレシピとスパイス＆ハーブが 12 ヶ月、毎月届くというものです。
プレンティアの定番カレーとして東京カリー番長が書き下ろしたプレンティアの本格カレーは、レシピを片手に森でチャレンジした経験のある方も多いはず。
これを機会に月替わりの本格カレーにご家庭でトライしてみられてはいかが？一年経てばあなたも立派なカレー通です。
もうひとつ上を！とお考えなら、
2016 年の料理レシピ本大賞の『まぼろしカレー』（地球丸刊）
プレンティアの森のイベントでは、直接指導も受けられるチャンスがあるというのは他にはない特典！

編集後記 イチ・オシ

2016 年も終わり、新しい年を迎えようとしています。
冬号のイチ・オシは特集の里山フェスタです。ＣＳＲトラスト加盟の５社が毎年11月に主催しているイベントで、今年で５回目となりました。個々の活動だけでなく横のつながりを大切にしているので、皆さんのモチベーションも上がり、たくさんの素敵な出会いもあります。それがより良い森づくりへとつながっているんですね。新年を迎えても、我々の日々の活動は変わることなく続きます。それによって起こる小さな変化を、大切に見守りたいです。
2017 年もぜひみなさん森に来て一緒に変化を見届けてください。

私達の活動は地域の企業や団体の協賛に支えられています。

地下水保全意識の高揚のために 西遠地域地下水利用対策協議会

職人品質を、もっと身近に。 アキュラホーム 株式会社アキュラホーム浜松支店 TEL：053-445-6220 http://hamamatsu.aqura.co.jp

大切にします、お客様との絆 明るい笑顔と感謝の気持ち 株式会社遠鉄トラベル http://www.e-trip.co.jp/

for your smile ～あなたの笑顔に逢いたくて～ 浜松信用金庫

ゆとりのくらしのパートナー 遠州信用金庫 http://www.shinkin.co.jp/enshin

Afforest Printing ～植林する印刷～ ユニオン印刷株式会社 静岡県浜松市南区大柳町851番地 TEL:053-443-7781 FAX:053-443-7780 印刷費の一部を植林活動に寄付しています

“明日”を探して今日お届けします。 株式会社 MAP

環境にやさしい光で次代を拓く人材の育成 光産業創成大学院大学

ひとにやさしい食品を、自然に優しい物流で・・・ AGグループ清風会 http://www.honor.co.jp http://www.agskk.jp

チェーンソーの事なら やらまいか堂 NPOプレンティアの森認定店 販売・修理から、技術指導まで・・・yaramaikado@gmail.com

次代につながる夢を ギャラリー 蔵間夢 浜北区平口 TEL:586-9000

HOUSE TRAD GOOD DECORATION IS A GOOD INVESTMENT www.housetrad.com TRAD HOUSE TRAD FURNITURE & TRAD LIFE Special Order !!

森を育てることは、食を豊かにすること 産認品証 北村農園 循環型自然農法で、プレンティアの森の里山産品認証をめざします。

“自然”から学びつづけよう！・・・ 人も企業も、お役に立ててこそ栄えます。 株式会社 サカエ 〒430-8691 浜松市中区野口町336 TEL(053)461-4521 http://www.sakae-jp.com

sala 中部ガス株式会社

私たちのセルフ・カーボンオフセットです 渋川の里 不二総合の森 不二総合コンサルタント株式会社 〒433-8112 静岡県浜松市北区初生町889-2 http://www.fujisougou.co.jp

循環型社会を目指して 天竜小堀谷 リサイクルクリーンの森 株式会社 リサイクルクリーン 〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣41 TEL053-925-1366

永く安心して暮らせる住まいづくり 天竜小堀谷 アイジーの森 株式会社 アイジーコンサルティング IG CONSULTING 〒430-0906 静岡県浜松市中区住吉4-9-5 http://www.ig-consulting.co.jp

新しい価値を創造する・・・ 天竜小堀谷 丸山コーポレーションの森 MARCO 株式会社 丸山コーポレーション 本社／浜松工場 浜松市南区寺脇町710 TEL053-441-1937 http://www.marco.co.jp/

次世代へのお役立ち 天竜小堀谷 E.S.Sの森 遠鉄システムサービス株式会社 〒430-0934 静岡県浜松市中区千歳町91-1 TEL053-452-0708(代)

環境と共生する豊かな社会の実現にむけて・・・ 天竜小堀谷 エフ・シー・シーの森 F.C.C. 株式会社 エフ・シー・シー http://www.fcc-net.co.jp/

技術は環境と共生で生きる… 天竜小堀谷 アツミテックの森 ATSUMITEC 株式会社 アツミテック 〒433-8118 静岡県浜松市中区高丘西四丁目6番1号 TEL (053)438-6711 http://www.atsumitec.co.jp

もりぢから 森力の再生 森づくりC.S.R.トラスト 静岡県西部森づくりCSR協働推進協議会

さとぢから 里力の復活 N.P.O. 小堀谷の里の会

《季刊プレンティア vol.3》 発行日：2016 年 12 月 31 日 発行人：水野 博 発 行：NPO プレンティアの森 編 集：遠藤小百合、布留谷容子、山口貴弘、高柳祥治、池川 寛、北村孝義、杉田虎臣、中島隆太